

港製器工業株式会社

船舶部品から住宅関連まで 幅広いニーズに応える

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドイン
ジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産
対応



積み荷を船舶にしっかり固定する「ツイストロック」

業務内容

**船の積み荷金具で世界有数の
評価 新規開発も積極的**

創業時から機装（ぎそう）品など船舶用製品を手掛けていたが、現在はコンテナ船や自動車運搬船向けに積み荷を固定する金具が中心になっている。船舶の航行中にコンテナが外れない金具「ツイストロック」は世界でも数えるほどの企業しか取り組んでいないが、国内外の造船メーカーに評価を得ている。ニッチ分野で存在感を発揮している。



住宅向けに新たに提案する「スーパーフェンス」

最近では住宅向けの扉など、エクステリア関連も積極的に展開する。他に、間伐材でつくった「スーパーフェンス」は平成24年度「おおさか地域創造ファンド」の助成事業に採択された。

強み

**生産製品の多さには自信あり
売れ筋重視の柔軟な体制**

船舶製品からスタートしたが、扱う分野、製品の品目が多いのが特徴だ。早い段階で意識してきた経営の多角化は、好況時には業績が跳ね上がるだけでなく、不況時には急激に落ち込むことはない。生産も、今、売れているものに力を注ぎ、柔軟に構えることができることも大きい。船舶関連製品は、本社工場に加えて、中国・江蘇省などに複数の協力工場を構えている。

経営方針である「変革と創造」が、従業員の中にも浸透しつつある。生産や営業の面でも徐々に効果が出始めている。

人材育成

**スピード感をもって未来
創造へ「個の力」を高める**

社員が自ら考えて実行することが大切と考えている。経営者だけが意気込まずに、特に中小企業では「個の力」を高めることが一段と高みに上げるために必要不可欠だからだ。そのために、平成24年度に制定した経営理念「イメージをスピード実現する達人として、共に未来を創ります」を挙げていく。下請け体質からの脱却と収益性の向上。永遠の最重要課題ともいえるテーマに對峙（たいじ）するためにも、まずは6人いる幹部から意識改革を徹底した。大型案件や新規受注など、全社員にも意識が広がってきたと手応えをつかんでいる。

今後の展望

**船舶金物で世界首位目指す
5年後に売上高100億円**

社内外に公言しているのは10年後に売上高300億円にのせること。その前提として、まずは5年後に100億円の到達を目標に掲げる。過去最高は平成7年度の37億円だが、将来的に船舶金物で世界シェアナンバーワンを目指す。現在の世界での販売シェアは10%未満という。だが、海外の競合メーカーをしっかりと分析して、攻めるべき方向性を明確にしている。社内組織も平成25年度から、幅広く手掛けるものづくりを迅速にできる「ビジネス戦略単位」で効率化に乗り出している。

COMPANY PROFILE

港製器工業株式会社

大阪25

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

鉄やアルミ、ステンレスを主体とした金属製品を製造・販売しています。当社の強みは従来より進めてきた経営の多角化で多くの業界と関わり、その中で蓄積してきた経験や知識に裏打ちされた「開発力」です。そして自社工場と協力工場のネットワークを駆使した「製造力」の強みを生かし、常に研究心をもってお客さまにより良い提案をし続けてまいります。

工場のネットワークを生かし、
蓄積した「開発力」が当社の強みです。

代表取締役社長 岡室 昇志さん



■主な事業内容

海上コンテナ資材・鉄、アルミ製品・物流機器・建築金物・住宅向けエクステリア・太陽光発電架台等の設計・製造・販売

■主な取引先（納入先）

造船所、船舶商社、機械メーカー、建材販売会社、住宅メーカー等

住所／〒569-8588
高槻市唐崎中
3-20-7
TEL／072-677-6641
FAX／072-677-3593
創業／昭和32年3月
設立／昭和36年3月
資本金／4,500万円
従業員／99名

<http://www.minatoseiki.co.jp>